



印刷管理バージョン 2.3.15

管理者ガイド

目次

概要	4
サポートされているプリンタ.....	5
Lexmark 管理コンソールを使用する	6
Lexmark Management Console にアクセスする.....	6
アプリケーションを設定する.....	6
デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定.....	9
クリーンアップタスクを定期設定する.....	9
印刷管理を管理する	11
Print Management Console にアクセスする.....	11
[印刷キュー]タブおよび[再印刷キュー]タブを使用する.....	12
[削除]タブを使用する.....	13
[バッジ]タブを使用する.....	14
[機能アクセス]タブを使用する.....	15
[数量制限]タブを使用する.....	16
[代替の場所]タブを使用する.....	17
[印刷監視デバイス]タブを使用する.....	18
ソリューションをテストする.....	18
レポートの管理と生成	20
レポートを生成する.....	20
レポートを定期設定する.....	20
トラブルシューティング	22
ファームウェアエラー < 9yy.xx >.....	22
ホーム画面の見つからない Bean に関するアプリケーションエラー.....	22
プロファイルサーバーが応答しない.....	22
LMC を使用して新しいデバイスを追加できない.....	23
何回かポリシー更新を試した後も「ポリシー外」というエラーメッセージが表示される.....	23
プリンタにバッジリーダーをインストールしようとする と「サポートされていないデバイス」という エラーメッセージが表示される.....	23
バッジを読み取ろうとする と「バッジデータを読み取れません」というエラー メッセージが表示される.....	23
ユーザーがリリースした印刷ジョブが印刷キュー に表示されない.....	23

バッジを読み取ろうとするとエラーが発生する.....	24
ページ数が正しくない.....	24
付録.....	25
通知.....	40
索引.....	41

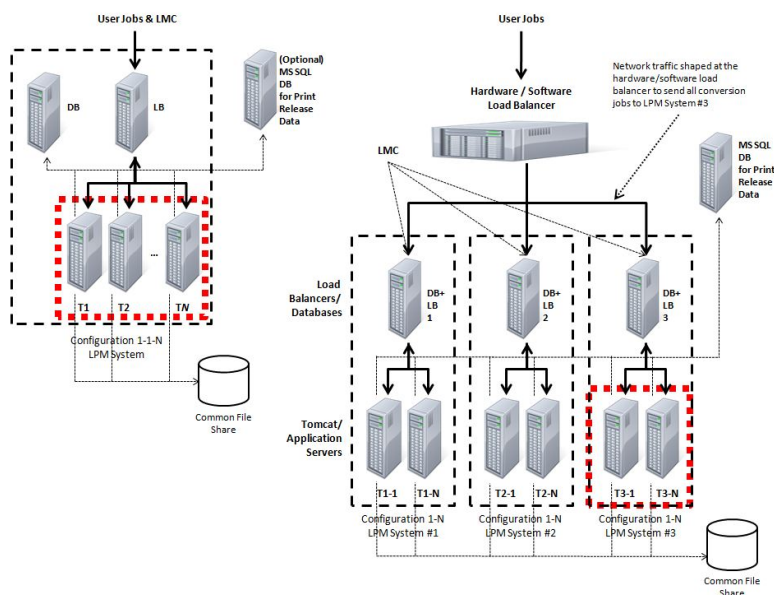
概要

このアプリケーションを使用すると、ワークステーションから中央印刷キューにドキュメントを送信して印刷できます。コンピュータや Web から、または E メールで送信された印刷ジョブは、削除または印刷されるまで保持されます。指定した時間内にジョブがリリースされなかった場合、そのジョブは自動的に削除されます。

また、モバイル印刷アプリケーションをダウンロードして、モバイルデバイスから印刷ジョブを送信することもできます。モバイルアプリケーションの購入方法の詳細については、Lexmark の販売担当者にお問い合わせください。

このソリューションでは、以下のこともサポートされます。

- プリンタの標準的な機能を使用するためのユーザー認証。これらの機能には、コピー、FAX 送信、E メール送信、スキャンして FTP に送信、スキャンしてネットワークに送信、などが含まれます。
- あるユーザーの印刷ジョブを別のユーザー（「代理人」と呼ばれる）がリリースすることを許可する。
- バッジ認証、数量制限の監視、および使用状況の監視。
- AirPrint を使用して印刷ジョブを送信する。



このソリューションを使用して印刷する方法の詳細については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

モバイルデバイスから印刷する方法の詳細は、『Lexmark Mobile Printing ユーザーズガイド』を参照してください。

サポートされているプリンタ

e-Task 4 プリンタ	e-Task 3 プリンタ	e-Task 2+ プリンタ	e-Task 2 プリンタ	e-Task プリンタ ¹	X642 プリンタ
<ul style="list-style-type: none"> MS610 MS810、MS812 MS911 MX410、MX510、MX511 MX610、MX611 MX710、MX711 MX810、MX811、MX812 MX910、MX911、MX912 CS510 CX410 CX510 	<ul style="list-style-type: none"> X548 6500 X746、X748 X792 X950、X952、X954 C748 C792 C925 C950 	<ul style="list-style-type: none"> X463、X464、X466 X651、X652、X654、X656、X658 X734、X736、X738 X860、X862、X864 T656 	<ul style="list-style-type: none"> X644、X646 X772 X782 X850、X852、X854 X940、X945 T654 W850 	<ul style="list-style-type: none"> X620² X632、X634² X752² X820² X830、X832² X912² C520、C522、C524 C530、C532、C534 C732、C734、C736 C780、C782 C920 C935 E450 E460、E462 T640、T632、T644 T650、T652 W840 	X642

¹ これらのプリンタでは、ハイブリッドソリューションで使用される eSF アプリケーションをサポートしていません。

² これらのプリンタは、Lexmark 管理コンソール で「C」モデル、「T」モデル、「W」モデルとして識別される場合があります。

メモ: 最新のデバイスとファームウェアレベルのサポートの詳細については、Readme ファイルを参照してください。

Lexmark 管理コンソールを使用する

Lexmark Management Console にアクセスする

1 Web ブラウザを使用して Lexmark Management Console (LMC) を次の URL のどちらかから起動します。

- `http://hostname:9780/lmc`
- `https://hostname/lmc`

hostname には、サーバーがインストールされているコンピュータのホスト名または IP アドレスが入ります。

メモ:

- サーバーを初めて起動する場合は、すべてのサービスが開始されるまで数分かかる場合があります。システム起動後すぐに LMC にアクセスできない場合は、数分たってから再度実行してください。
- LMC を使用するには、Web ブラウザの Cookie が有効になっている必要があります。
- Adobe Flash Player 10 以降が必要です。お使いの Web ブラウザで ActiveX コントロールの実行が許可されていない場合は、Adobe の Web サイトにアクセスしてプラグインを手動でアップグレードしてください。

2 管理者のユーザー名およびパスワードを入力して、**[ログイン]** をクリックします。

メモ:

- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、いずれも `admin` です。
- LMC が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、有効なユーザー名およびパスワードならどれでも使用できます。

アプリケーションを設定する

サーバーのステータスを変更する

Print Management では、ジョブをロードバランサからサーバーに送信するかどうかを管理者がコントロールできます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、**[システム]** タブをクリックします。
- 2 サーバーを選択します。
- 3 **[オンラインに設定]** または **[オフラインに設定]** をクリックします。

メモ: **[オフラインに設定]** を選択した場合でも、管理者はサーバーに接続した状態に保たれます。

お使いの環境に合わせてアプリケーション設定を構成する

メモ: 設定を変更する前に、Lexmark ヘルプデスクに変更内容が適切で必要かどうかをお問い合わせください。

ソリューションの設定は、Lexmark 統合担当者が、最初のインストール時にお使いの環境におけるニーズに合わせて構成します。ユーザーからのフィードバックやお使いの環境の構成変更に伴い設定を修正する必要がある場合は、以下を実行します。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、**[ソリューション]** タブをクリックします。
- 2 **[ソリューション]** セクションで、**[PrintReleasev2]** をクリックします。

- 3 [タスク]セクションで、[設定]をクリックし、設定を変更します。
- 4 [適用]をクリックします。

デバイスグループにプリンタを追加する

ソリューションの適用範囲を他の部署や場所に拡大する場合は、デバイスを追加する必要があります。ソリューションにデバイスを追加する前に、Lexmark テクニカルプログラムマネージャに問い合わせて必要なライセンスを保持していることを確認してください。

通常、既存のデバイスグループにデバイスを追加するには、グループ内のその他のデバイスと同じローカル設定にしておく必要があります。また、グループを作成すると、(場所別など)より効率的にデバイスを管理したり、ローカル設定で[認証方法]、[すべてを印刷]、[キーパッドのみ]などのデバイス設定を変更することができます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[デバイスグループ]タブをクリックします。
- 2 [デバイスグループ]セクションで[追加]をクリックし、デバイスグループの名前を入力します。
メモ: 既存のグループを使用する場合は、お使いのデバイスの名前を選択します。
- 3 [タスク]セクションで[検出プロファイル]を選択します。
- 4 [アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。
メモ:
 - IP アドレスは一度に 1 つだけ追加できます。
 - 追加したプリンタで情報が設定されるまでフィールドには何も入力しないでください。
- 5 [検索]をクリックします。
- 6 [検出]セクションで、[新しいデバイスのみを検出]チェックボックスをオンにして、[検出]をクリックします。
- 7 [終了]をクリックします。
- 8 プリンタが正しく追加されたことを確認するには、[タスク]セクションで[概要]または[検出されたデバイス]をクリックします。

ホーム画面を設定する

新しいプリンタがソリューションに追加された際、プリンタが新しいデバイスグループに追加された場合や、プリンタのモデルが以前に設定したプリンタとは異なる場合は、ホーム画面の設定が必要になることがあります。デバイスクラスが違えば機能も異なるため、デバイスクラスごとにホーム画面を設定する必要があります。各デバイスクラスでサポートされているプリンタの一覧については、[5 ページの「サポートされているプリンタ」](#)を参照してください。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[デバイスグループ]タブをクリックします。
- 2 [デバイスグループ]セクションで設定するデバイスグループを選択し、[タスク]セクションで[ホーム画面]をクリックします。
- 3 [ホーム画面]セクションで設定するプリンタのタイプを選択します。
メモ: [このホーム画面をデバイスグループポリシーの一部として使用する]チェックボックスがオンになっていることを確認してください。
- 4 ホーム画面の設定を行っていない場合は、[レイアウト]メニューでホーム画面に表示するボタンの数を選択します。
- 5 それぞれの機能に、ボタン、アクション、およびプロファイルを割り当てます。

機能	アクション	プロファイル
コピー	コピー + プロファイル	CopyTrack
FAX	FAX + プロファイル	以下のいずれか 1 つを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> FaxTrackAnalog FaxServerTrack
E メール	E メール + プロファイル	EmailTrack
FTP	FTP + プロファイル	
印刷管理	1 つのプロファイル	Print Release
Scan to Network	1 つのプロファイル	ScantoNetwork

メモ: 割り当てられていないボタンはホーム画面に表示されません。

6 [適用]をクリックします。

プリンタにアプリケーションを展開する

このソリューションを使用する前に、プリンタにアプリケーションが展開され、サポートされているすべてのアプリケーションの展開とホーム画面の設定が構成されていることを確認してください。アプリケーションの展開の詳細については、『Deployment White Paper(展開に関するホワイトペーパー)』を参照してください。

1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[デバイスグループ]タブをクリックします。

2 [デバイスグループ]セクションで、[プリントリリース]を選択します。

3 [タスク]セクションで[eSF 設定]を選択し、次の順に展開を設定します。

- deviceusage
- カードリーダードライバ: keyboardreader、omnikey5427ckdriver、omnikeydriver
- advancedprompt
- badgeauth

メモ: 正しく対応している eSF フレームワークレベルと推奨される展開順序はデフォルトで設定されています。

4 展開順序を変更する場合は、[eSF アプリケーション]セクションで上下の矢印ボタンをクリックします。

5 ポリシー更新から eSF アプリケーションを除外する場合は、[eSF 構成設定]セクションの[展開先]メニューで各アプリケーションの横にあるチェックボックスをオフにします。

6 [設定の保存]をクリックします。

7 [タスク]セクションで[ポリシー更新] > [ポリシーを更新]の順にクリックします。

メモ:

- アプリケーションが正常に動作するようにポリシーを更新してください。
- 展開が完了するまでは 1 ~ 2 分かかります。
- ポリシー更新のパフォーマンスを向上させる方法の詳細については、[9 ページの「デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定」](#)を参照してください。

8 [終了]をクリックします。

UCF(Universal Configuration File)を設定する

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[ソリューション]タブをクリックします。
- 2 [ソリューション]セクションで、[PrintReleasev2]を選択します。
- 3 [タスク]セクションで、[セキュリティ設定ファイル]を選択し、設定を構成します。

使用するメニュー	機能
BadgeAuth	LDAP セキュリティビルディングブロックを作成する。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • この設定は eTask2 フレームワークに対応しています。 • この設定は LDAP が認証に使用されている場合のみ使用されます。
BadgeAuth2	<ul style="list-style-type: none"> • LDAP セキュリティビルディングブロックを構成する。 • BadgeAuth eSF アプリケーションに関連付けられた LDAP セキュリティテンプレートを設定し、アクセスコントロールに適用する。 • BadgeAuth eSF アプリケーションに関連付けられた BadgeAuth セキュリティテンプレートを設定し、アクセスコントロールに適用する。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • この設定は eTask2+, eTask3、および eTask4 フレームワークに対応しています。 • この設定は、LDAP および BadgeAuth eSF アプリケーションが認証と UCF の構成にそれぞれ使用されている場合に使用されます。

- 4 ポリシー更新にデバイスグループレベルの UCF が使用されるように指定する場合は[BadgeAuth2]を選択し、[ソリューション構成を使用]チェックボックスをオフにします。
- 5 ポリシー更新から設定ファイルを削除する場合は、[展開先]メニューで各フレームワークの横にあるチェックボックスをオフにします。
- 6 [適用]をクリックします。

デバイス検索とポリシー更新のチャンクサイズの設定

3 つ以上のサーバーを使用する場合、チャンクサイズを縮小するとデバイス検索とポリシー更新の速度が上がります。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[サービス]タブをクリックします。
- 2 [サービス]セクションで[全般]を選択します。
- 3 [タスク]セクションで[パラメータ]を選択します。
- 4 [ChunkSize]フィールドに新しい値を入力します。

メモ: 3 つ以上のサーバーを使用する場合、値は 2 程度にするのが適切です。

- 5 [適用]をクリックします。

クリーンアップタスクを定期設定する

Lexmark Print Management には、ユーザーの数量制限合計またはカラーの数量制限を月単位または年単位で設定する機能、ユーザーまたはグループごとの機能アクセスの制限、一時バジの管理など、柔軟性のある機能が多数用意されています。各機能には、定期的にデータを更新しクリーンアップするため定期設定済みのタスクが必要です。

数量制限を使用している場合は、前年のデータを自動的に削除するために数量制限をリセットし、ユーザーが最高限度の新しい数量制限で開始できるようにする必要があります。このタスクは、年 1 回、ビジネスプロセスに最適な特定の日に実行されるよう定期設定する必要があります。たとえば、多くの学校では、各学年の年度初めにこのタスクを実行しています。

機能アクセスを使用している場合は、ユーザーのグループ情報を定期的に更新し、各自のユーザーロールに付与された機能にアクセスできるようにしておく必要があります。このタスクの実行頻度は、自己判断で決定することもできれば、ご利用の環境のグループ間をユーザーが移動する頻度に従って実行することもできます。

一時バッジについては、バッジが新しいユーザーに割り当てられる場合、その新しいユーザーは再登録する必要がありますが、以前のユーザーのジョブにはアクセスできないようにするため、バッジに関連付けられたユーザー情報をリセットすることが重要です。このタスクの実行頻度は、自己判断で決定することもできれば、一時バッジを割り当てる期間に従って実行することもできます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、**[システム]**タブをクリックします。
- 2 **[システム]**セクションで、**[定期設定]**を選択します。
- 3 **[追加]** > **[スクリプト]** > **[次へ]** > **[なし]** > **[次へ]**の順にクリックします。
- 4 設定するソリューションと、タスクに関連付けられているスクリプトを選択します。
 - **ResetFAUserGroup** - グループの機能アクセス制限をリセットできます。
 - **PrintDelete** - 一定期間の印刷ジョブを自動的に削除できます。
 - **GenerateCSV** - 一定期間のレポートを生成できます。
 - **TempBadgeDelete** - 一時バッジのデータを削除できます。
 - **ResetQuota** - ユーザーの数量制限を年 1 回リセットできます。
 - **ResetUserGroup** - 現在のグループに対してデータベースにすでに定義済みのユーザーを更新できます。
- 5 **[次へ]**をクリックします。
- 6 **[頻度を選択]**ダイアログで、クリーンアップの開始日時と頻度を指定します。
- 7 **[完了]**をクリックします。

印刷管理を管理する

Print Management Console にアクセスする

1 Web ブラウザを使用して Print Management Console (PMC) を次の URL のどちらかから起動します。

- `http://hostname:9780/printrelease/index.html`
- `https://hostname/printrelease/index.html`

hostname の部分にはロードバランサのネットワークアドレスが入ります。

2 管理者のユーザー名およびパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

メモ:


- デフォルトのユーザー名およびパスワードは、いずれも admin です。
- PMC が LDAP サーバーに接続するように設定されている場合は、LDAP ユーザー名およびパスワードを入力します。
- PMC は Internet Explorer バージョン 6 ~ 9 のみでサポートされています。

コンソールビューでは、有効なタブが青でハイライト表示されています。右上隅には現在ログイン中のユーザーの名前が表示されます。左上隅のイメージをクリックして、タブやその他の PMC 機能を管理することもできます。

タブ	説明
印刷キュー*	すべての保留中の印刷ジョブを表示および管理できます。
再印刷キュー	すべての印刷済みジョブと保持されているジョブを表示および管理できます。
代理人*	すべての印刷代理人を表示および管理できます。
バッジ	すべての登録済みバッジを表示および管理できます。
機能アクセス	プリンタの特定機能(印刷、コピー、Eメール、FAX、ネットワークスキャン)を実行するすべてのユーザーを表示できます。また、機能アクセスはグループレベルまたはユーザーレベルで管理できます。
数量制限	ユーザーおよびグループの一覧を、それぞれの印刷ジョブの合計ページ数と所定の期間に各ユーザーが印刷したページ数とともに表示できます。また、月単位または年単位でグループレベルまたはユーザーレベルの数量制限を管理することができます。
代替の場所	印刷ジョブをリリース可能なプリンタを表示および管理できます。
印刷監視デバイス	プリンタおよび印刷ジョブデータに関する情報を記録する目的でデバイスを追加できます。


* これらのタブは標準設定で有効にされています。その他のタブを管理および有効化するには、左上隅のイメージをクリックします。

一覧から情報を変更する

1 一覧から変更対象のエントリを探し、[アクション]列の  をクリックします。

2 必要な変更を行い、[OK] をクリックします。

一覧からエントリを削除する

- 1 一覧から削除対象のエントリを探し、[アクション]列の  をクリックします。
- 2 [OK]をクリックして確定します。

コンソールからログアウトする

ページの右上隅で、[ログアウト]をクリックします。

[印刷キュー]タブおよび[再印刷キュー]タブを使用する

[印刷キュー]タブでは、送信済みの印刷ジョブのうち、リリースまたは削除されていないすべての印刷ジョブを確認することができます。

[再印刷キュー]タブでは、送信済みの印刷ジョブのうち、少なくとも 1 回はリリースされたものの削除されていないすべての印刷ジョブを確認することができます。[指定した時間の後に印刷済みジョブを削除]オプションに 0 より大きい値が指定されている場合は、一覧が表示されます。


印刷キューを表示および管理する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[印刷キュー]タブまたは[再印刷キュー]タブをクリックします。
- 2 [フィルタ]メニューで適切なデータフィールドを選択し、検索条件を設定します。
- 3 テキストフィールドに検索対象を示す用語を入力し、[フィルタを適用]をクリックします。
- 4 以下の印刷ジョブ情報が表示されます。
 - **サイト** - Print Management のサイトコードが表示されます。
 - **ユーザー** - 印刷ジョブをキューに送信した Windows ユーザー ID です。
 - **ジョブ名** - キューにある印刷ジョブのファイル名です。
 - **ページ数** - キューにある印刷ジョブのページ総数です。
 - **提出日** - 印刷ジョブが送信された日時です。
 - **代理人** - ジョブを印刷することが許可されているユーザーまたはグループの名前です。
 - **アクション** - ジョブプロパティを確認したり、キューにあるジョブの削除、編集、代理操作、印刷などを行うことができます。

特定の印刷ジョブを表示するには、以下の印刷ジョブの追加情報の横にある  をクリックします。

- **カラー** - ジョブを白黒(モノクロ)で印刷するかカラーで印刷するかを示します。
 - **両面印刷** - ジョブを片面で印刷するか両面で印刷するかを示します。
 - **ページサイズ** - キューにある印刷ジョブに設定された用紙のサイズです。
- 5 列内のアイテムを並べ替えるには、列ヘッダーをクリックします。
 - ▲ - 列を昇順に並べ替えます。
 - ▼ - 列を降順に並べ替えます。

印刷ジョブを削除する

- 1 一覧から印刷ジョブを探し、[アクション]列の  をクリックします。
- 2 [ジョブを委任]ダイアログで、代理人または代理人グループを割り当て、[OK]をクリックします。

印刷ジョブをリリースする

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[印刷キュー]タブまたは[再印刷キュー]タブをクリックします。
- 2 印刷するジョブを探し、[アクション]列のプリンタアイコンをクリックします。
- 3 プリンタのアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ:

- 複数選択機能が設定されている場合は、印刷するジョブを複数選択し、[印刷]をクリックします。複数選択は、Print Management Console の左上隅のイメージをクリックし、[キュー]タブのオプションセクションで変更すると設定できます。
- この機能を使用すると、プリンタが資格情報の認証に失敗したり、代理人以外のユーザーがジョブをリリースする必要が生じた場合に印刷することができます。

[削除]タブを使用する

代理人とは、別のユーザーの印刷ジョブをリリースすることが許可されている人物です。たとえば、管理アシスタントはエグゼクティブが送信した印刷ジョブをリリースすることができます。

[代理人]タブでは、特定のユーザーに関連付けられているそれぞれの代理人や代理人グループを表示および管理できます。特定のユーザーを代理人や複数のユーザーの代理人グループの一員に指定することもできます。ただし、各ユーザーに指定できるのはそれぞれ 1 人の代理人または 1 つの代理人グループのみです。

代理人グループを追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代理人]タブ > [代理人グループを追加]の順にクリックします。

メモ: [代理人グループを追加]ボタンが表示されていない場合は、[代理人グループを管理]をクリックします。

- 2 [代理人グループを追加]ダイアログで、グループの名前を入力します。
- 3 Windows ユーザー ID を入力したら、[追加]をクリックします。

メモ: ユーザー ID は一度に 1 つだけ追加できます。

- 4 [OK]をクリックします。

代理人を追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代理人]タブ >[代理人を追加]の順にクリックします。

メモ: [代理人を追加]ボタンが表示されていない場合は、[代理人を管理]をクリックします。

- 2 [代理人を追加]ダイアログで、ユーザーの名前を入力します。
- 3 単独の代理人を追加する場合は、[シングルユーザー]を選択し、Windows ユーザー ID を入力します。
- 4 グループで代理人を追加する場合は、[代理人グループ]を選択し、一覧からグループを選択します。
- 5 [既存の印刷ジョブの代理人を更新する]チェックボックスをオンにします。

メモ: チェックボックスをオフにしておくと、印刷ジョブが今後リリースされる場合にのみ、この代理人が受け入れられます。

- 6 [OK]をクリックします。

[バッジ]タブを使用する

バッジ認証を使用する場合は、ユーザーが初めてソリューションを使用するときにバッジを登録できるようソリューションを設定してください。

[バッジ]タブでは、ソリューションに登録されたバッジを確認できます。また、バッジ情報の修正や追加を手動で行うこともできます。

バッジ ID を登録する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[バッジ]タブ >[バッジを追加]の順にクリックします。

- 2 [バッジを追加]ダイアログで、Windows ユーザー ID とバッジ ID を入力します。

メモ: ユーザーが印刷キューに送信した正しい印刷ジョブを取得できるよう、バッジ ID が必ず Windows ユーザー ID に割り当てられていることを確認します。

- 3 [追加]をクリックします。

一時的なバッジ ID を登録する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[バッジ]タブ >[一時バッジ]の順にクリックします。

- 2 [一時バッジ]ダイアログで、追加する一時的なバッジ ID を入力し、[追加]をクリックします。

メモ: バッジ ID は一度に 1 つだけ追加できます。

- 3 [OK]をクリックします。

[機能アクセス]タブを使用する

標準設定のユーザーの機能アクセスを管理する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[機能アクセス]タブ >[標準設定のユーザー]の順にクリックします。
- 2 [標準設定のユーザー]ダイアログで、新規ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択し、[OK]をクリックします。

標準設定のグループの機能アクセスを管理する

Print Management Console の設定オプションで、グループの機能アクセスが有効にされていることを確認します。

- 1 [グループを管理] >[デフォルトグループ]の順にクリックします。
- 2 [デフォルトグループ]ダイアログで、新規ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択し、[OK]をクリックします。

グループを追加する

グループを追加する前に、グループの機能アクセスを有効にしてください。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[機能アクセス]タブ >[グループの追加]の順にクリックします。
メモ: [グループの追加]ボタンが表示されていない場合は、[グループを管理]をクリックします。
- 2 [グループの追加]ダイアログで、グループの名前を入力してから、ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択します。
- 3 [OK]をクリックします。

ユーザーを追加する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[機能アクセス] >[ユーザーを追加]の順にクリックします。
- 2 [ユーザーを追加]ダイアログで、Windows ユーザー ID を入力してから、ユーザーにアクセスを許可するプリンタ機能を選択します。
メモ: グループが追加されている場合は、ユーザーの所属するグループを選択します。
- 3 [OK]をクリックします。

[数量制限]タブを使用する

[数量制限]タブでは、グループやユーザーに割り当てられた印刷数量制限を表示および管理できます。

数量制限を表示および管理する

数量制限は月単位または年単位で管理することができます。月単位の数量制限を使用する場合、ユーザーは毎月初日にページ数の新しい割り当てを受け取ります。前月の未使用のページ数を持ち越すことはできません。数量制限が年単位で追跡される場合、ユーザーは毎年初日にページ数の割り当てを大量に受け取ります。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限]タブをクリックします。
- 2 [フィルタ]メニューで適切なデータフィールドを選択し、検索条件を設定します。
メモ: データフィールドの設定は、[数量制限表示]と[使用量表示]メニューで選択する設定によって変わります。
- 3 テキストフィールドに検索対象を示す用語を入力し、[フィルタを適用]をクリックします。
- 4 [数量制限表示]メニューで、表示するインプレッションを選択します。
 - [全数量制限(合計/カラー)] - ユーザーが印刷またはコピーできるページ数の総合計が表示されます。
 - [数量制限合計] - ユーザーが印刷またはコピーできるページ数の合計が表示されます。
 - [カラーの数量制限] - ユーザーがカラー印刷またはカラーコピーできるページ数の合計が表示されます。
- 5 [使用量表示]メニューで、表示する期間を選択します。
 - [今月]
 - [先月]
 - [最近 3 か月]
 - [最近 6 か月]
 - [最近 12 か月]
- 6 列内のアイテムを並べ替えるには、列ヘッダーをクリックします。
 - ▲ - 列を昇順に並べ替えます。
 - ▼ - 列を降順に並べ替えます。

グループを追加する

数量制限の管理はグループレベルまたはユーザーレベルで行うことができます。グループの数量制限を実施する場合、ユーザーの数量制限はユーザーの所属する Active Directory (AD) グループに基づいて定義されます。たとえば、あるグループ(マーケティングなど)のユーザーが別のグループ(ヘルプデスク)のユーザーよりも論理的に多く印刷できる従業員階層を設定することができます。各グループに固有の数量制限を設定できるので、各グループのユーザーに適切なページ数を割り当てることができます。個人ユーザーベースで数量制限を管理する場合は、登録時または入力時に標準設定の数量制限値が全ユーザーに設定されます。管理者は必要に応じて個人の数量制限の変更を管理します。

AD グループに相当するグループは手動で追加する必要があります。グループ名は AD グループの名前と一致させる必要があります。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限]タブ > [グループの追加]の順にクリックします。

メモ: [グループの追加]ボタンが表示されていない場合は、[グループを管理]をクリックします。

- 2 [グループの追加]ダイアログで、グループの名前を入力し、以下を設定します。

- [数量制限合計] - ユーザーに許可される印刷またはコピーの合計ページ数です。
- [カラーの数量制限] - ユーザーに許可されるカラー印刷またはカラーコピーの合計ページ数です。

メモ: ユーザーに対してユーザーとグループの数量制限が両方とも設定されている場合は、個人ユーザーの数量制限が優先されます。

- 3 [OK]をクリックします。

ユーザーをグループに追加する

[ユーザーを管理]をクリックすると、全ユーザー、各ユーザーの所属先のグループ、および各ユーザーの一定時間枠の印刷ページ数が示された一覧を表示することができます。標準設定では、合計印刷ページ数またはカラー印刷ページ数の数量制限が表示されます。数量制限の表示と時間枠は、[数量制限表示]と[使用量表示]フィルタを使用して変更することができます。

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[数量制限]タブ > [ユーザーを追加]の順にクリックします。

メモ: [ユーザーを追加]ボタンが表示されていない場合は、[ユーザーを管理]をクリックして現在のユーザー一覧に戻ります。

- 2 [ユーザーを追加]ダイアログで、Windows ユーザー ID を入力してから、ユーザーの所属先のグループを選択します。

- 3 [OK]をクリックします。

[代替の場所]タブを使用する

印刷管理では、別の場所からプリンタを使用して印刷ジョブをリリースすることができます。このタブではこれらのプリンタを表示および管理できます。

ユーザーに印刷ジョブを別のプリンタにリリースすることを許可する

- 1 Web ブラウザから Print Management Console にアクセスし、[代替の場所]タブ > [代替の場所を追加]の順にクリックします。

- 2 [代替の場所を追加]ダイアログで、以下を設定します。

- [リリース IP] - 印刷ジョブが送信されるプリンタの IP アドレスです。
- [代替 IP] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの IP アドレスです。
- [代替ディスプレイ名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの名前です。
- [代替モデル名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデル名です。
- [代替デバイスはカラーです] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタがカラーモードで印刷するかどうかを示します。

3 [OK]をクリックします。

[印刷監視デバイス]タブを使用する

印刷ジョブを監視する

Lexmark Print Management を使用すると、管理者は、ユーザーの印刷ジョブのうちプリンタの印刷キューに送信されないジョブをデバイスで監視することができます。ジョブは引き続き、共有の Windows 印刷キューから印刷されますが、リリースが保留されることはなく、そのままプリンタに送られます。印刷ジョブを任意のデバイスで監視する場合、管理者は[印刷監視デバイス]タブで情報を追加し、プリンタに関する情報を印刷ジョブのデータとともに保存しておく必要があります。この設定は省略可能であり、ユーザーは、設定されていないプリンタからでも印刷することができます。ただし、追加していない場合は、モデルとデバイスのタイプ(カラーまたはモノクロなど)は使用状況データに保存されません。

- 1 Print Management Console にアクセスし、[印刷監視デバイス]タブ > [印刷監視デバイスを追加]の順にクリックします。
- 2 [印刷監視デバイスを追加]ダイアログで、以下を設定します。
 - [サイト] - 印刷ジョブがリリースされる場所です。
 - [アドレス] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタの IP アドレスです。
 - [モデル名] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデル名です。
 - [モデルタイプ] - 印刷ジョブがリリースされるプリンタのモデルタイプです。
 - [コメント] - 管理者がプリンタに関する情報を追加できるオプションのフィールドです。
- 3 [OK]をクリックします。

ソリューションをテストする

設定を変更したり、デバイスグループにデバイスを追加した後は、クライアントワークステーションを設定し、印刷キューが適切に動作するようにしておく必要があります。


- 1 プリンタウィザードを開きます。

Windows 8 の場合

[検索]チャームで、「ファイル名を指定して実行」と入力し、次の順に選択します。

[アプリ]リスト > [ファイル名を指定して実行] > 「プリンタ」と入力 > [OK] > [デバイスとプリンターの追加]

Windows 7 および Windows Vista の場合

- a  > [実行]の順にクリックします。
- b [検索の開始]ダイアログで、「プリンタ」と入力します。
- c [プリンタの追加] > [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します]の順にクリックします。

Windows XP 以前の場合

- a [スタート] > [ファイル名を指定して実行]の順にクリックします。
- b [ファイル名を指定して実行]ダイアログで、「プリンタ」と入力します。
- c [ファイル] > [プリンタの追加]の順にクリックします。

- 2 ネットワークプリンタに接続するためのオプションを選択し、プリンタの格納先フォルダを入力します。
- 3 通常使うプリンタに設定し、ページ印刷を可能にするオプションを選択します(要求された場合)。
- 4 プリンタのホーム画面で、[プリントリリース]をタッチします。
- 5 テストページを含む印刷ジョブを選択し、[選択したものを印刷]をタッチします。

レポートの管理と生成

レポートを生成する

この機能を使用して、ユーザー全体の使用状況のトレンドを分析することができます。使用状況追跡用データベースから Excel またはその他のレポートツールで使用可能な .csv ファイルにデータをエクスポートし、そのデータを分析できます。このエクスポートは、一定時間枠のデータのみを抽出するよう設定できます。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[システム]タブをクリックします。
- 2 [システム]セクションで、[レポート]を選択します。
- 3 [使用可能なレポート]セクションで、[PR - フルデータエクスポート]を選択し、レポート期間を指定します。
- 4 生成する出力形式を選択します。
 - [PDF] - PDF 形式でレポートが生成されます。
 - [CSV] - Excel 形式でレポートが生成されます。
- 5 エクスポートしたファイルを保存する場合は、以下を実行します。
 - a [保存先]チェックボックスをオンにし、[保存先]フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b ファイルの保存先フォルダのパスを指定し、[OK]をクリックします。
- 6 レポートを E メールアドレスに送信する場合は、以下を実行します。
 - a [E メール送信先]チェックボックスをオンにし、[E メール送信先]フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b Eメールの受信者やその他の情報を指定し、[OK]をクリックします。
- 7 [レポートを実行]をクリックします。

レポートを定期設定する

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスし、[システム]タブをクリックします。
- 2 [システム]セクションで、[定期設定]を選択して[追加]をクリックします。

メモ: 既存の定期設定を変更する場合は、定期設定済みタスクを選択し、[編集]をクリックします。
- 3 [タスクを選択]ダイアログで、[レポート]を選択して[次へ]をクリックします。
- 4 [使用可能なレポート]セクションで、[PR - フルデータエクスポート]を選択し、レポート期間を指定します。
- 5 生成する出力形式を選択します。
 - [PDF] - PDF 形式でレポートが生成されます。
 - [CSV] - Excel 形式でレポートが生成されます。
- 6 エクスポートしたファイルを保存する場合は、以下を実行します。
 - a [保存先]チェックボックスをオンにし、[保存先]フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b ファイルの保存先フォルダのパスを指定し、[OK]をクリックします。

- 7 レポートを E メールアドレスに送信する場合は、以下を実行します。
 - a **[E メール送信先]**チェックボックスをオンにし、**[E メール送信先]**フィールドの横のボタンをクリックします。
 - b Eメールの受信者やその他の情報を指定し、**[OK]**をクリックします。
- 8 **[次へ]**をクリックします。
- 9 **[頻度を選択]**ダイアログで、レポート生成の開始日時と頻度を指定し、**[完了]**をクリックします。

トラブルシューティング

ファームウェアエラー < 9yy.xx >

デバイスのファームウェアは更新する必要があります。

ファームウェア更新の詳細については、Lexmark ヘルプデスク にお問い合わせください。

ホーム画面の見つからない Bean に関するアプリケーションエラー

LDD サーバー上で Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーのサービスを再起動します。

プロファイルサーバーが応答しない

LDD ロードバランサで LEXMARK が提供する必要なサービスがすべて実行されていることを確認する

- 1 LDD ロードバランサで、次の順に選択します。
[設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]
- 2 以下のサービスが開始状態になっていることを確認します。
 - Firebird サーバー - 標準設定インスタンス
 - Lexmark ソリューションのバックアップと復元エージェント
 - Apache2
 - Lexmark ソリューションの Apache エージェント
 - Lexmark ソリューションの Web (またはプロトコル)
 - アダプタ
 - Lexmark ソリューションのライセンスマネージャ

LEXMARK ソリューションのアプリケーションサーバーが実行されていることを確認する

LDD サーバー上で Lexmark ソリューションのアプリケーションサーバーのサービスを再起動します。

LMC を使用して新しいデバイスを追加できない

プリンタに十分なライセンスがあることを確認する

- 1 LMC で、[システム]タブをクリックし、[ライセンス]を選択します。
- 2 プリンタのライセンスがサーバーに追加されており、有効期限が切れていないかどうかを確認します。

メモ: ライセンスをご購入でない場合や、ライセンスの有効期限が切れている場合は、Lexmark テクニカルプログラムマネージャにお問い合わせください。

何回かポリシー更新を試した後も「ポリシー外」というエラーメッセージが表示される

グループ内のデバイス台数を許可するようにライセンスが設定されていない可能性があります。ライセンスを購入したプリンタの台数を確認するには、Lexmark テクニカルプログラムマネージャにお問い合わせください。

プリンタにバッジリーダーをインストールしようとする時「サポートされていないデバイス」というエラーメッセージが表示される

プリンタに適切なドライバがインストールされていることを確認する

必要なドライバがわからない場合は、環境内にある別の使用中のプリンタを確認するか、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

バッジを読み取ろうとする時「バッジデータを読み取れません」というエラーメッセージが表示される

バッジリーダーの設定ファイルが正しいことを確認する

必要な設定ファイルがわからない場合は、環境内にある別の使用中のプリンタを確認するか、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

ユーザーがリリースした印刷ジョブが印刷キューに表示されない

LEXMARK ユニバーサルプリンタドライバがインストールされていることと、ポートが MANAGEMENT CONSOLE サーバーに設定されていることを確認する

詳細については、Lexmark ヘルプデスクにお問い合わせください。

ドキュメント名とユーザー ID が正しいことと、印刷時にユーザーが別のユーザー ID を使ってログインしていなかったかどうかを確認する

(⇒ [12 ページの「印刷キューを表示および管理する」](#))

バッジ ID が正しいユーザー ID に登録されていることを確認する

(⇒ [14 ページの「バッジ ID を登録する」](#))

バッジを読み取ろうとするとエラーが発生する

バッジ ID が PRINT MANAGEMENT CONSOLE に登録されていることを確認する

(⇒ [14 ページの「バッジ ID を登録する」](#))

プリンタを再起動する

カードリーダーで問題が発生している可能性があり、プリンタを再起動する必要があります。

ページ数が正しくない

印刷ジョブのスプーリングが完了するまで、印刷ジョブが送信されないことを確認する

- 1 プリンタフォルダ内のプリンタを右クリックして、[プリンタのプロパティ]または[プロパティ]をクリックします。
- 2 [詳細]タブをクリックし、次のチェックボックスをオンにします。
 - 印刷ドキュメントをスプールして、プログラムの印刷処理速度を上げる。
 - 最後のページがスプールされてから印刷を開始する。
- 3 [OK]をクリックします。

メモ: Print Management の印刷枚数の記録は傾向を解析することだけを目的としており、課金のためではありません。

付録

Lexmark ヘルプデスクに問い合わせる

Lexmark ヘルプデスクに問い合わせる際は、速やかに問題を解決できるよう次の情報をお手元にご用意ください。

- 会社の暗証番号(提供されている場合)。
- お使いのプリンタが現在接続されている LDD のバージョン。

バージョンを確認する方法は次のとおりです。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスします。
- 2 ページの上部にあるセクションで、[バージョン情報]をクリックします。

- 現在使用している Management Console ソリューションのバージョン。

バージョンを確認する方法は次のとおりです。

- 1 Web ブラウザから Lexmark Management Console にアクセスします。
- 2 [ソリューション]タブをクリックして、[ソリューション]セクションで[PrintReleasev2]を選択します。
- 3 [タスク]セクションで、[概要]を選択し、バージョンのセクションを見つけます。

Print Management のデータベースフィールドの概要

使用状況データのフィールド	説明
ID	ジョブを参照するための一意の ID です。
SITE	ジョブが送信された場所です。
USERID*	ジョブを送信したユーザーの名前です。この値は Windows ユーザー ID に一致します。
SUBMITIP	ジョブが送信されたプリンタの IP アドレスです。
PRINTJOBNAME	印刷ジョブに割り当てられた名前です。
SUBMITDATE	印刷ジョブが送信された日時です。
FINALDATE	印刷ジョブがリリースされた日時です。
FINALACTION*	ユーザーにより実行されたジョブを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • P - 印刷ジョブがリリースされたことを示します。 • D - ジョブが削除されたことを示します。 • C - コピージョブがリリースされたことを示します。 • F - FAX ジョブがリリースされたことを示します。 • E - E メールジョブがリリースされたことを示します。 • T - FTP ジョブがリリースされたことを示します。 • S - スキャンジョブがネットワークにリリースされたことを示します。
FINALSITE	ジョブがリリースされたプリンタです。
NUMPAGES	ジョブに含まれるページ数です。

* 基本の Management Console では、印刷ジョブのリリースと削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションでは、認証を使用して機能にアクセスする場合と、追跡オプションを購入済みの場合に、他の標準のプリンタ機能を追跡します。

使用状況データのフィールド	説明
RELEASEIP	ジョブがリリースされたプリンタの IP アドレスです。
RELEASEUSERID	ジョブをリリースしたユーザーまたは代理人の名前です。
RELEASEMETHOD	<p>ジョブがどのように追跡、リリース、または削除されたかを示します。</p> <p>PRINT</p> <p>T - 印刷ジョブが Management Console キューの外部でリリースされたことを示します。</p> <p>P - 印刷ジョブがユーザーによりリリースされたことを示します。</p> <p>W - 印刷ジョブが Print Management Console (PMC) からリリースされたことを示します。</p> <p>D - 印刷ジョブが Management Console キューからリリースされたことを示します。</p> <p>COPY</p> <p>T - コピージョブが LMC からリリースされたことを示します。</p> <p>E-MAIL</p> <p>T - E メールジョブが LMC からリリースされたことを示します。</p> <p>FAX</p> <p>T - FAX ジョブが LMC からリリースされたことを示します。</p> <p>S - FAX ジョブがプリンタの FAX 機能からリリースされたことを示します。</p> <p>R - FAX ジョブがプリンタの FAX 機能から送信されたことを示します。</p> <p>FTP</p> <p>T - FTP ジョブが FTP 経由でリリースされたことを示します。</p> <p>SCAN TO NETWORK</p> <p>T - スキャンジョブがネットワークに送信されたことを示します。</p> <p>Delete</p> <p>W - 印刷ジョブが PMC から削除されたことを示します。</p> <p>U - 印刷ジョブがプリンタから削除されたことを示します。</p> <p>A - 印刷ジョブがキューから自動的に削除されたか、または有効期限が切れたことを示します。</p>
PRINTJOBCOLOR	<p>ジョブがカラーで印刷されたかモノクロで印刷されたかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Y - ジョブがカラーで印刷されたことを示します。 • N - ジョブがモノクロで印刷されたことを示します。
PRINTJOBDEX	<p>ジョブが片面で印刷されたか両面で印刷されたかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • S - ジョブが片面で印刷されたことを示します。 • N - ジョブが両面で印刷されたことを示します。
PRINTJOBPAPERSIZE	印刷ジョブに使用された用紙サイズを示します。
RELEASEMODEL	この印刷ジョブのプリンタのモデル名です。
RELEASEMODELTYPE	<p>印刷ジョブに使用されたプリンタの種類を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • C - ジョブがカラープリンタで印刷されたことを示します。 • M - ジョブがモノクロプリンタで印刷されたことを示します。 • U - ジョブが不明なプリンタで印刷されたことを示します。
RELEASEHOSTNAME	ジョブがリリースされたプリンタの IP アドレスを示します。
DESTINATION	E メールジョブまたは FAX ジョブの送信先です。

* 基本の Management Console では、印刷ジョブのリリースと削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションでは、認証を使用して機能にアクセスする場合と、追跡オプションを購入済みの場合に、他の標準のプリンタ機能を追跡します。

使用状況データのフィールド	説明
PROFILE	ジョブの完了に実行されたプロファイルを示します。
CUSTOM1	定義された LDAP 属性の追加情報を示します。
CUSTOM2	
CUSTOM3	

* 基本の Management Console では、印刷ジョブのリリースと削除の追跡のみがサポートされます。このソリューションでは、認証を使用して機能にアクセスする場合と、追跡オプションを購入済みの場合に、他の標準のプリンタ機能を追跡します。

ソリューション設定の索引

項目	ローカル設定	値	説明
サイト	Y	<任意のテキスト文字列>	印刷ジョブに記録されたサイト名の記述子です。通常、これはユーザーの場所でソリューションが使用されている場合のみ使用されます。
ユーザー認証	Y	デバイスによる入力* バッジ データベース検索のバッジ LDAP 検索のバッジ データベース検索の暗証番号 LDAP 検索の暗証番号 ユーザー ID のみ ユーザー ID/パスワード ユーザー定義	ユーザー ID の認証に使用される方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> バッジ認証 eSF または PKI/CAC アプリケーションがインストール、使用されている場合は、[デバイスによる入力]に設定します。 バッジまたは暗証番号の値がデータベーステーブルに保存されている場合に、データベース検索設定が使用されます。 Active Directory または LDAP は LDAP オプションに使用されます。 [ユーザー ID のみ]と[ユーザー ID/パスワード]は、プリンタ操作パネルで資格情報を入力するようユーザーに求めます。 [ユーザー定義]とはカスタム認証スクリプトのことです。
代替バッジログイン	Y	無効 ユーザー ID/パスワード* データベース検索の暗証番号 LDAP 検索の暗証番号	バッジがメインのログインであり、ユーザーが資格情報を手動で入力できる認証方法です。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この方法は使用できません。
新しいバッジユーザーを登録		無効* 有効	入力を促す画面が表示されたら、LDAP 資格情報を入力してバッジを初回登録することをユーザーに許可します。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この設定は使用できません。
バッジプロンプト		<任意のテキスト文字列> バッジをリーダーに通してください*	ユーザーが資格情報を入力する前に、画面に表示されるメッセージです。 メモ: バッジ認証 eSF がインストールされている場合、この設定は使用できません。

Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。
* 設定の標準値を示します。

項目	ローカル設定	値	説明
タッチ画面 - すべてを印刷	Y	無効* 有効	[すべてを印刷]オプションを選択することをユーザーに許可します。 メモ: この設定は、タッチ画面对応のプリンタのみに適用されます。
キーパッドのみ - ジョブリリース	Y	ユーザーがリストから選択* 全ジョブを印刷	認証後、印刷ジョブをスクロールして選択するか、すべての印刷ジョブを印刷することをユーザーに許可するかどうかを指定します。
キーパッドのみ - ユーザーオプション*	Y	印刷のみ* [印刷して削除]	印刷ジョブを選択して削除することをユーザーに許可します。 メモ: この設定は、タッチ画面对応でないプリンタのみに適用されます。
キーパッドのみ - すべてを印刷	Y	無効* 有効	すべての印刷ジョブを選択することをユーザーに許可します。 メモ: この設定は、[キーパッドのみ - ジョブリリース]が[ユーザーがリストから選択]に設定されている、タッチ画面对応でないプリンタのみに適用されます。
ジョブの表示順序		印刷日(降順)* 印刷日(昇順)	印刷ジョブの表示が降順か昇順を指定します。
ジョブの印刷順序		印刷日(降順)* 印刷日(昇順)	リリースされた印刷ジョブの表示が降順か昇順を指定します。
印刷ジョブのディレクトリ		<任意のネットワークまたはローカルパス> c:\lexmark\printrelease*	印刷ジョブが保留または保存される場所です。
印刷ジョブディレクトリのユーザー名		<任意のテキスト文字列>	印刷ジョブのディレクトリで指定したディレクトリに対して、読み取り権限と書き込み権限が付与されたユーザーの名前です。 メモ: ドメインアカウントが使用される場合、ユーザー名は次のようになります。 <domain; username>
印刷ジョブディレクトリのパスワード		<任意のテキスト文字列>	印刷ジョブのディレクトリで指定したディレクトリに対して、読み取り権限と書き込み権限が付与されたユーザーに割り当てられたパスワードです。
暗号化された印刷ジョブのディレクトリ		<任意のネットワークまたはローカルパス> c:\lexmark\printrelease*	暗号化された印刷ジョブが保存される場所です。管理者は、PrintCryption またはスマートカードを使用して印刷ジョブを暗号化します。
ジョブ暗号化方式		デバイス証明書* ユーザー証明書	ジョブがリリースされる前に、暗号化された印刷ジョブを解読するのに使用される証明書を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • PrintCryption が使用されている場合は、[デバイス証明書]を選択します。 • スマートカードが使用されている場合は、[ユーザー証明書]を選択します。
指定した時間の後にまだ印刷されていないジョブを削除		1-168 10*	印刷ジョブが削除されるまでの待機時間を示します。

Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。

* 設定の標準値を示します。

項目	ローカル設定	値	説明
指定した時間の後に印刷済みジョブを削除		1-24 0*	再印刷を行うためにリリース、保留されたジョブが削除されるまでのプリンタの待機時間を示します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 0 は再印刷を無効にします。 1 ~ 24 の任意の値は再印刷を有効にします。
機能アクセス		無効* ユーザー ID 別 グループ別	特定のプリンタ機能にアクセスするのは、ユーザーかグループかを指定します。
ユーザーの数量制限		無効* ユーザー ID 別 グループ別	印刷ジョブとコピージョブに対してユーザーまたはグループに設定される数量制限を指定します。
数量制限期間		毎月* 年ごと	数量制限の単位は、月単位か年単位かを指定します。
標準設定のユーザーの数量制限合計		<任意の正の整数値> 0*	ユーザーに許可される印刷またはコピーの初回枚数を示します。
標準設定のユーザーのカラー数量制限		<任意の正の整数値> 0*	ユーザーに許可されるカラー印刷またはカラーコピーの初回枚数を示します。
標準設定のユーザーの許可		はい* いいえ	カラー印刷をユーザーに許可するかどうかを示します。
グループメンバーの数量制限		グループ別* ユーザー別	管理者が数量制限をグループ内の個々のユーザーに適用するか、グループ内のすべてのユーザーに適用するかを指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、ユーザーの数量制限が [グループ別] に設定されている場合だけです。
コピー数量制限の残高を表示		表示しない* コピージョブの前 コピージョブの後	コピー回数上限の残りをユーザーに通知するかどうかを指定します。
数量制限をリセット		すべての合計をリセット* 全ユーザーを削除	数量制限をリセットするか、数量制限テーブルからユーザーを削除するかを指定します。 メモ: この設定を使用できるのは、ResetQuotas スクリプトが設定されている場合のみです。
代替のリリース場所		無効* 有効	ジョブを別のプリンタにリリースすることをユーザーに許可するかどうかを指定します。
Unix/Novell からの印刷を有効にする		はい いいえ*	Unix、Linux、OSX、Novell のいずれかの印刷キュー環境からリリースされた受信ジョブの高度な処理をユーザーが実行できるかどうかを指定します。
LDAP サーバー		<任意のテキスト文字列>	認証に使用される LDAP サーバーです。
Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。			
* 設定の標準値を示します。			

項目	ローカル設定	値	説明
LDAP ポート		389* 636 3268 3269	LDAP サーバーで使用されるネットワークポートを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 標準 LDAP ポートは 389 です。 SSL を使用する標準 LDAP ポートは 636 です。 グローバルカタログは 3268 です。 SSL を使用するグローバルカタログは 3269 です。
LDAP で SSL を使用		はい いいえ*	LDAP の照会時に Management Console で SSL を使用するかどうかを示します。
LDAP ログインのユーザー名		<任意の文字列>	LDAP サーバーのログイン時に使用されるユーザー ID です。
LDAP ログインパスワード		<任意の文字列>	LDAP サーバーのログイン時に使用されるパスワードです。
LDAP ユーザー ID のタイプ		プリンシパル名* 識別名	LDAP ログイン資格情報に使用されるユーザー ID の形式です。
LDAP プリンシパルドメイン		<任意のテキスト文字列>	LDAP で使用されるドメイン名を指定します。 メモ: [LDAP ユーザー ID のタイプ]が[プリンシパル名]に設定されている場合に、このドメイン名が使用されます。
LDAP 検索ベース	Y	<任意のテキスト文字列>	LDAP の照会で使用される LDAP 検索ベースです。
LDAP で高度な設定ファイルを使用		はい いいえ*	高度な設定ファイルを使用するのに LDAP システムで LDD が必要かどうかを指定します。
LDAP ユーザー ID 属性		<任意のテキスト文字列>	ユーザー ID が含まれた LDAP フィールドの名前です。
LDAP バッジ ID 属性		<任意のテキスト文字列>	バッジ番号が含まれた LDAP フィールドの名前です。 メモ: [ユーザー認証]が[LDAP 検索のバッジ]に設定されている場合に、この設定が必要になります。
LDAP 暗証番号 ID 属性		<任意のテキスト文字列>	暗証番号が含まれた LDAP フィールドの名前です。 メモ: [ユーザー認証]が[LDAP 検索の暗証番号]に設定されている場合に、この設定が必要になります。
LDAP E メール属性		<任意のテキスト文字列> メール*	ユーザーの E メールアドレスが含まれた LDAP フィールドの名前です。 メモ: 高度な E メール機能のいずれかが使用される場合に、この設定が必要になります。
LDAP ホームディレクトリ属性		<任意のテキスト文字列> ホームディレクトリ*	ユーザーのホームディレクトリが含まれた LDAP フィールドの名前です。 メモ: ユーザーのホームディレクトリで[Scan to Network]プロファイルと保存先設定が設定されている場合に、この設定が必要になります。
Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。 * 設定の標準値を示します。			

項目	ローカル設定	値	説明
LDAP ユーザー定義属性 1		<任意のテキスト文字列>	この設定が使用されるのは、記録された使用状況データ内に追加の LDAP 属性がある場合のみです。
LDAP ユーザー定義属性 2			
LDAP ユーザー定義属性 3			
コピー - コピー画面に戻る		はい いいえ*	コピージョブが完了した後に、プリンタのコピーホーム画面に戻ることをユーザーに許可するかどうかを指定します。
コピー - 警告のしきい値		0 - 999	コピージョブがリリースされた後に、ユーザーの確認が必要なコピー枚数を示します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時標準設定は 999 です。 0 はこの機能を無効にします。
コピー - コピーセンターのしきい値		<任意の整数>	1 回のコピージョブで許可されるページ数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ページ数が上限を超えると、コピーセンターを使用するように促すメッセージが表示され、ユーザーはコピージョブを続行できなくなります。 出荷時標準設定は 0 です。
コピーセンターのエラーメッセージ		<任意のテキスト文字列> このジョブは大きすぎてこのデバイスで処理できません。コピーセンターに送信する必要があります。*	ページ数が、[コピー - コピーセンターのしきい値] で設定されているページ数の上限を超えたときに表示されるエラーメッセージです。
E メール - 送信元		LDAP* データベース デバイス	プリンタから E メールを送信するときに使用する E メールアドレスを示します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> LDAP とデータベースでは、ユーザーの E メールアドレスが使用されます。 デバイスでは、プリンタの E メール設定で設定されている E メールアドレスが使用されます。
E メール - ユーザーは自分にしか送信できません		はい いいえ*	ユーザーが E メールを自分宛に送信するか、他の E メールアドレス宛に送信するかを指定します。
E メール - ユーザーにコピーを送信		はい* いいえ	リリースされた E メールジョブのコピーをユーザーが受け取るかどうかを指定します。
Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。			
* 設定の標準値を示します。			

項目	ローカル設定	値	説明
E メール - 宛先を追跡		はい いいえ*	E メールジョブが完了するごとに毎回、[宛先]フィールド内の E メールアドレスを記録するかどうかを指定します。
E メール - 次を経由して送信		MFP* サーバー	ユーザーが E メールをプリンタから送信するか、LDD サーバーから送信するかを指定します。
E メール - E メール画面に戻る		はい いいえ*	E メールジョブが完了した後に、プリンタの E メールホーム画面に戻ることをユーザーに許可するかどうかを指定します。
E メール - 添付ファイルの最大サイズ		<任意の整数>	ユーザーが E メールに添付できる最大ファイル サイズ (MB) を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時標準設定は 0 です。0 に設定すると、添付ファイルサイズのチェックが無効になります。 ファイルのサイズが上限を超えると、ユーザーは E メールジョブを続行できなくなります。
E メール - 最大サイズのエラーメッセージ		<任意のテキスト文字列> 添付ファイルのサイズが、お使いの E メールシステムで許容されているサイズの上限を超過しています。E メールを送信できません。*	ファイルのサイズが、[E メール - 添付ファイルの最大サイズ] で設定されているサイズの上限を超えたときに表示されるエラーメッセージです。
FAX - 宛先を追跡		はい いいえ*	FAX ジョブが完了するごとに毎回、プリンタで送信先の FAX 番号を記録するかどうかを指定します。
Scan to Network - 保存先		ユーザーのホームディレクトリ* ファイル共有 ファイル共有 + ユーザー ID ファイル共有 + LDAP 属性 データベース検索	スキャンしてネットワークに送信するときに、保存先パスのタイプを指定します。
Scan to Network - ファイル共有	Y	<任意のネットワークまたはローカルパス>	[Scan to Network - 宛先] で設定されたファイル共有オプションのいずれかの保存先パスを指定します。
Scan to Network - サブフォルダ		<任意のテキスト文字列>	ネットワークの保存先サブフォルダを指定します。
Scan to Network - ディレクトリを作成		いいえ* はい - 作成のみ はい - 権限の作成と設定	ユーザーによって設定されるネットワークの保存先パスが存在しない場合、プリンタで自動的にディレクトリを作成するかどうかを指定します。
Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。			
* 設定の標準値を示します。			

項目	ローカル設定	値	説明
Scan to Network - 認証		ユーザーのサービスアカウント* ユーザーにパスワードの入力を要求する	スキャンしてネットワークに送信するときに、プリンタで使用される認証タイプを指定します。
Scan to Network - ドメイン		<任意のテキスト文字列>	スキャンしてネットワークに送信するときに使用されるネットワークドメインを指定します。
Scan to Network - ユーザー ID		<任意のテキスト文字列>	ネットワークにジョブを送信したユーザーの名前を指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、[Scan to Network - 認証]が[ユーザーのサービスアカウント]に設定されている場合のみです。
Scan to Network - パスワード		<任意のテキスト文字列>	ネットワークにジョブを送信したユーザーに割り当てられたパスワードを指定します。 メモ: この設定が適用されるのは、[Scan to Network - 認証]が[ユーザーのサービスアカウント]に設定されている場合のみです。
Scan to Network - 標準設定のファイル名		<任意のテキスト文字列> スキャン*	ネットワークに送信されたドキュメントの名前を指定します。
Scan to Network - タイムスタンプを追加		はい* いいえ	ネットワーク送信時にドキュメントに追加された日時を指定します。
Scan to Network - さらにスキャンするかどうか尋ねる		はい いいえ*	スキャンしてネットワークに送信し終わったら、ユーザーがもう一度スキャンすることを選択するかどうかを指定します。 メモ: [いいえ]を選択すると、[Scan to Network]ホーム画面に戻ります。
デバイスのホスト名を記録		はい* いいえ	プリンタのホスト名や IP アドレスを使用状況データと一緒に記録するかどうかを指定します。
印刷 - ページ数の確認 (両面印刷)		無効 有効*	用紙の両面印刷ジョブの詳細チェックを実行するプリンタを記録するかどうかを指定します。
ファイル印刷の操作		標準の方法を使用* 代替の方法を使用	プリンタでファイルを保存する際に標準の方法を使用するか、代替の方法を使用するかを指定します。
印刷の統計情報にデバイス使用量を使用		はい いいえ*	プリンタで印刷ジョブを記録するかどうかを指定します。 メモ: [はい]に設定すると、LDD は印刷ジョブを使用状況データに記録しません。
デバイス使用量にサーバー時刻を使用		はい いいえ*	プリンタの時刻を使用状況データに使用するかどうかを指定します。 メモ: [いいえ]を選択すると、使用状況データに LDD のサーバー時刻を記録します。
ジョブの区切り	Y	無効* 有効	プリンタで、ページの間用紙を 1 枚挟むかどうかを指定します。

Y 項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。

* 設定の標準値を示します。

項目	ローカル設定	値	説明
印刷のステータスを表示		無効 有効*	ジョブの印刷時に、ステータスメッセージが画面に表示されます。
Y項目がローカルソリューション設定内にあり、プリンタグループごとに定義可能であることを示します。			
* 設定の標準値を示します。			

標準レポートの概要

デバイス別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
出力量(合計)	リリースされた印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	リリースされたコピージョブの総数
Eメール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスのホスト名別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_Hostname.Jasper)

メモ: ホスト名は DNS 照会を使用して取得されます。DNS でホスト名が設定されていない場合は、代わりに IP アドレスが使用されます。

レポートのフィールド	説明
デバイス名	ジョブをリリースしたプリンタ名
出力量(合計)	リリースされた印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	印刷したジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数

レポートのフィールド	説明
コピー	リリースされたコピージョブの総数
E メール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスの IP アドレスとモデル名別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_IPModel.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
モデル	ユーザーがジョブをリリースしたプリンタのモデル名
出力量(合計)	リリースされた印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	リリースされたコピージョブの総数
E メール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

デバイスの IP アドレス、モデル名、モデルタイプ別の使用状況 (PR_DeviceUsageReport_IPModelType.jasper)

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
モデル	ジョブをリリースしたプリンタのモデル名
出力量(合計)	リリースされた印刷ジョブとコピージョブの総数
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数
コピー	リリースされたコピージョブの総数
E メール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数

レポートのフィールド	説明
スキャン	ネットワークに送信されたジョブの総数
FTP	FTP アドレスに送信されたジョブの総数

ユーザー別の詳細印刷レポート (PR_DetailPrintReportByUser.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷の合計数	印刷されたページの総数

レポートのフィールド	説明
アドレス	印刷ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

ホスト名別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_Hostname.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷の合計数	印刷されたページの総数

レポートのフィールド	説明
ホスト名	ジョブをリリースしたプリンタのホスト名
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

プリンタの IP アドレス、モデル名、モデルタイプ別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_IPMMT.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷の合計数	印刷されたページの総数

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	印刷ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
モデル	印刷ジョブをリリースしたプリンタのモデル名
モデルタイプ	印刷ジョブをリリースしたプリンタのモデルタイプ
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

プリンタの IP アドレスとモデルタイプ別の詳細印刷レポート (PR_detailPrintReportByUser_IPModelType.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷の合計数	印刷されたページの総数

レポートのフィールド	説明
デバイス IP	印刷ジョブをリリースしたプリンタの IP アドレス
モデルタイプ	印刷ジョブをリリースしたプリンタのモデルタイプ
印刷ジョブ名	送信システムで定義され印刷ジョブヘッダーから抽出された印刷ジョブの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
カラー	ジョブをカラーで印刷するかどうかを指定
両面印刷	ジョブを用紙の両面に印刷するかどうかを指定
用紙サイズ	印刷ジョブがリリースされた時点で指定された用紙のサイズ

ユーザー別のカラーまたはモノクロ印刷レポート(PR_ColorMonoByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数

ユーザー定義 1 フィールドで定義される使用状況レポート (PR_[custom1]UsageReport.jasper)

グループヘッダー	
ユーザー定義 1	LDAP データベースのグループユーザーの属性として定義される変数名

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前
コピー	リリースされたコピージョブの総数
E メール	リリースされた E メールジョブの総数
FAX	リリースされた FAX ジョブの総数
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(モノクロ)	モノクロで印刷されたジョブの総数
印刷(カラー)	カラーで印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数

ユーザー別の片面または両面印刷レポート(PR_simplexDuplexByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷(合計)	リリースされた印刷ジョブの総数
印刷(片面)	用紙の片面に印刷されたジョブの総数
印刷(両面)	用紙の両面に印刷されたジョブの総数

印刷枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20PRINTUser.jasper or PR_bottom20PRINTUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	印刷ジョブをリリースしたユーザーの名前
印刷(合計)	ユーザーがリリースした印刷ジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした印刷ジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした印刷ジョブの占める割合

コピー枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20COPYUser.jasper or PR_bottom20COPYUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	コピージョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースしたコピージョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースしたコピージョブの総数のうち特定のユーザーがリリースしたコピージョブの占める割合

E メール数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20EMAILUser.jasper or PR_bottom20EMAILUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	E メールジョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースした E メールジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした E メールジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした E メールジョブの占める割合

ネットワークスキャン数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20SCANUser.jasper or PR_bottom20SCANUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	スキャンジョブをネットワークに送信したユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの総数のうち特定のユーザーがネットワークに送信したスキャンジョブの占める割合

FAX 枚数別のトップまたはボトム 20 ユーザーレポート (PR_top20FAXUser.jasper or PR_bottom20FAXUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	FAX ジョブをリリースしたユーザーの名前
ページカウント(合計)	ユーザーがリリースした FAX ジョブの総数
合計に占める割合	すべてのユーザーがリリースした FAX ジョブの総数のうち特定のユーザーがリリースした FAX ジョブの占める割合

ユーザー別の削除済みページレポート(PR_pageDeletedByUser.jasper)

レポートのフィールド	説明
ユーザー	ジョブを削除したユーザーの名前
ページカウント(合計)	削除されたすべてのジョブの総数
ユーザー削除	ユーザーが削除したジョブの総数
システム削除	システムが自動的に削除したジョブの総数
合計に占める割合	削除されたすべてのジョブの総数のうちユーザーやシステムが削除したジョブの占める割合

通知

版通知

2014 年 11 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または黙示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または黙示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを黙示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または黙示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2014 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark およびダイヤモンドのデザインを組み合わせた Lexmark のロゴは、Lexmark International, Inc. の商標であり、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

その他の商標は各所有者に帰属します。

AirPrint および AirPrint のロゴは Apple, Inc. の商標です。

米国政府のエンドユーザー

本ソフトウェアプログラムおよび関連文書は、48 C.F.R. 2.101 で定義されている「商品」であり、48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202 に述べられている「商業用コンピュータソフトウェア」および「商業用コンピュータソフトウェア文書」に該当します。48 C.F.R. 12.212 または 48 C.F.R. 227.7202-1 から 227.7207-4 の規定に従い、米国政府のエンドユーザーは、本商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書を (a) 商品としてのみ、(b) 本書の条項によりすべての他のエンドユーザーに付与される権利と同一の権利のみとともに取得します。

索引

アルファベット

Lexmark ヘルプデスク、問い合わせる 25
Lexmark 管理コンソール
アクセスする 6

あ行

アクセスする
Lexmark 管理コンソール 6
アクセスする、印刷管理コンソール 11
アプリケーション
展開する 8
アプリケーション設定
設定する 6
一時的なバッジ ID
追加する 14
印刷管理コンソール
アクセスする 11
概要 11
印刷管理のデータベースフィールド
概要 25
印刷ジョブ
監視する 18
リリースする 13
リリースする、別のプリンタに 17
エラー、バッジの読み取り時に発生
トラブルシューティング 24

か行

概要 4
印刷管理コンソール 11
概要、印刷管理のデータベースフィールド 25
概要、標準レポート
カラー印刷レポート、ユーザー別 37
削除済みページレポート、ユーザー別 39
使用状況、デバイス別 34
使用状況、デバイスのホスト名別 34
使用状況、デバイスの IP アドレス別 35

使用状況、デバイスのモデル名別 35
使用状況、デバイスのモデルタイプ別 35
使用状況レポート、ユーザー定義 1 フィールドで定義される 37
詳細印刷レポート、ホスト名別 36
詳細印刷レポート、IP アドレス別 36, 37
詳細印刷レポート、モデル名別 36
詳細印刷レポート、モデルタイプ別 36, 37
詳細印刷レポート、ユーザー別 36
トップ 20 ユーザーレポート、E メール数別 39
トップ 20 ユーザーレポート、FAX 枚数別 39
トップ 20 ユーザーレポート、コピー枚数別 38
トップ 20 ユーザーレポート、ネットワークスキャン数別 39
トップ 20 ユーザーレポート、印刷枚数別 38
ボトム 20 ユーザーレポート、E メール数別 39
ボトム 20 ユーザーレポート、FAX 枚数別 39
ボトム 20 ユーザーレポート、コピー枚数別 38
ボトム 20 ユーザーレポート、ネットワークスキャン数別 39
ボトム 20 ユーザーレポート、印刷枚数別 38
モノクロ印刷レポート、ユーザー別 37
両面印刷レポート、ユーザー別 38
片面印刷レポート、ユーザー別 38
片面印刷レポート、ユーザー別
概要、標準レポート 38
カラー印刷レポート、ユーザー別
概要、標準レポート 37
監視する、印刷ジョブ 18

管理する、グループの数量制限 16
管理する、グループ
機能アクセス 15
標準設定の機能アクセス 15
管理する、印刷キュー 12
管理する、ユーザーの数量制限 16
管理する、ユーザー
標準設定の機能アクセス 15
許可する、ユーザーが別のプリンタに印刷ジョブをリリース 17
クリーンアップ、タスク
定期設定する 9
グループ
追加する 15, 16
追加する、ユーザー 17
グループの数量制限
設定する 16
検出
設定する、チャंकサイズ 9
向上する、パフォーマンス
設定する、チャंकサイズ 9
構成する、お使いの環境用にアプリケーション設定を 6

さ行

サーバー、ステータス
変更する 6
削除済みページレポート、ユーザー別
概要、標準レポート 39
削除する、印刷ジョブ 12
削除する、エントリ 11
サポートされているプリンタ 5
使用状況、デバイス別
概要、標準レポート 34
使用状況、デバイスのホスト名別
概要、標準レポート 34
使用状況、デバイスの IP アドレス別
概要、標準レポート 35
使用状況、デバイスのモデル名別
概要、標準レポート 35
使用状況、デバイスのモデルタイプ別
概要、標準レポート 35

使用状況レポート、ユーザー定義
1 フィールドで定義される
概要、標準レポート 37
詳細印刷レポート、ホスト名別
概要、標準レポート 36
詳細印刷レポート、IP アドレス別
概要、標準レポート 36, 37
詳細印刷レポート、モデル名別
概要、標準レポート 36
詳細印刷レポート、モデルタイプ別
概要、標準レポート 36, 37
詳細印刷レポート、ユーザー別
概要、標準レポート 36
使用する、UCF ファイル
展開する、アプリケーション 8
生成する、レポート 20
設定する、デバイス検索とポリシー
更新用にチャンクサイズを 9
設定する、ホーム画面 7
設定する、グループの数量制
限 16, 17
設定する、標準設定の機能アクセ
ス 15
ソリューション設定、索引 27

た行

代替の場所
設定する 17
代理人
追加する 14
代理人グループ
追加する 13
チャンクサイズ
設定する 9
追加する、代理人グループ 13
追加する、代理人 14
追加する、グループ 16
機能アクセス 15
追加する、デバイスグループにプリ
ンタを 7
追加する、一時的なバッジ ID 14
追加する、ユーザー
機能アクセス 15
追加する、グループにユーザー
を 17
機能アクセス 15
追加できない、LMC を使用して新
しいデバイスを
トラブルシューティング 23
通知事項 40
定期設定する、クリーンアップタス
ク 9

定期設定する、レポート 20
テストする、ソリューション 18
デバイスグループ
追加する、プリンタ 7
展開する、アプリケーション
使用する、UCF ファイル 8
展開する、プリンタにアプリケーショ
ンを 8
登録する、バッジ ID 14
トップ 20 ユーザーレポート、E メー
ル数別
概要、標準レポート 39
トップ 20 ユーザーレポート、FAX
枚数別
概要、標準レポート 39
トップ 20 ユーザーレポート、コピー
枚数別
概要、標準レポート 38
トップ 20 ユーザーレポート、ネット
ワークスキャン数別
概要、標準レポート 39
トップ 20 ユーザーレポート、印刷
枚数別
概要、標準レポート 38
トラブルシューティング
エラー、バッジの読み取り時に発
生 24
追加できない、LMC を使用して
新しいデバイスを 23
バッジを読み取ろうとすると「バッ
ジデータを読み取れません」とい
うエラーメッセージが表示され
る 23
ファームウェアエラー< 9yy.xx
> 22
プリンタにバッジリーダーをインス
トールしようとする「サポートさ
れていないデバイス」というエラ
ーメッセージが表示される 23
プロファイル サーバーが応答しな
い 22
ページ数が正しくない 24
ユーザーがリリースした印刷ジョ
ブが印刷キューに表示されな
い 23
何回かポリシー更新を試した後で
も「ポリシー外」というエラーメッ
セージが表示される 23
見つからない Bean、ホーム画
面 22

な行

何回かポリシー更新を試した後で
も「ポリシー外」というエラーメッセ
ージが表示される
トラブルシューティング 23

は行

バッジ ID
登録 14
バッジを読み取ろうとすると「バッジ
データを読み取れません」というエ
ラーメッセージが表示される
トラブルシューティング 23
表示および管理する、印刷キュー
12
表示および管理する、数量制
限 16
表示する、グループの数量制
限 16
表示する、印刷キュー 12
表示する、ユーザーの数量制
限 16
ファームウェアエラー< 9yy.xx
> 22
プリンタ
追加する、デバイスグループに 7
プリンタ、サポート 5
プリンタにバッジリーダーをインス
トールしようとする「サポートされ
ていないデバイス」というエラーメッセ
ージが表示される
トラブルシューティング 23
プロファイル サーバーが応答しな
い
トラブルシューティング 22
ページ数が正しくない
問題に対処する 24
変更する、サーバーのステータ
ス 6
変更する、エントリ 11
ホーム画面
設定する 7
ボトム 20 ユーザーレポート、E メ
ール数別
概要、標準レポート 39
ボトム 20 ユーザーレポート、FAX
枚数別
概要、標準レポート 39
ボトム 20 ユーザーレポート、コピ
一枚数別
概要、標準レポート 38

ボトム 20 ユーザーレポート、ネット
ワークスキャン数別

概要、標準レポート 39

ボトム 20 ユーザーレポート、印刷
枚数別

概要、標準レポート 38

ポリシー更新

設定する、チャンクサイズ 9

ま行

見つからない Bean、ホーム画
面 22

モノクロ印刷レポート、ユーザー別

概要、標準レポート 37

や行

ユーザー

追加する 15

ユーザーがリリースした印刷ジョブ
が印刷キューに表示されない

問題に対処する 23

ら行

両面印刷レポート、ユーザー別

概要、標準レポート 38

リリースする、印刷ジョブ 13

レポート

定期設定する 20

生成 20

ログアウト 11